

## 社会資本総合整備計画（地域住宅計画）の事後評価報告シート

1. 事後評価を実施した社会資本総合整備計画（地域住宅計画）	
① 計画の名称	熱海市における安心して快適な住まいと地域づくりにつながる住環境の向上(地域住宅計画)
② 都道府県名	静岡県
③ 計画作成主体	熱海市
④ 計画期間	平成 22 年度 ～ 26 年度
⑤ 計画の目標	『災害に強く、安心して快適な住まいと、地域づくりにつながるような住環境向上を実現する。』 『少子高齢社会への対応を推進することにより、豊かで安全でゆとりある住まいづくりを実現する。』
2. 事後評価の内容	
⑥ 実施体制・時期	熱海市において評価を実施
⑦ 事後評価の結果	<p>指標①：「公営住宅に関する住環境改善対策の割合」            定義：公営住宅ストック総合改善事業のうち、主に外壁等改善事業により住環境の改善が図られた公営住宅の割合（平成元年以後に実施したものを対象とする。）            評価方法：基準年度の割合と目標年度の割合の比較            結果：従前値:55%（22年度）⇒目標値:79%（26年度）⇒実績値:79%            結果の分析：公営住宅ストック総合改善事業の中で外壁等改修工事 14 棟を計画し、全 14 棟を実施したため目標を達成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ H22～H24 社会資本整備総合交付金にて 8 棟実施</li> <li>・ H25～H26 防災・安全交付金にて 6 棟実施</li> </ul> <p>指標②：「木造住宅の耐震化の割合」            定義：昭和 56 年以前に建築した木造住宅のうち、耐震性を確保した割合            評価方法：基準年度の割合と目標年度の割合の比較            結果：従前値:19%（22年度）⇒目標値:26%（26年度）⇒実績値:21%            結果の分析：市内での広報活動等をおこない耐震性に対する住民の意識向上に努めたが民間住宅の耐震診断・改修が進まず、目標を下回る結果となった。</p>
⑧ 結果の公表方法	熱海・市のホームページにて公表を行うとともに、窓口にて閲覧可。
3. 事後評価の結果を踏まえた今後の住宅施策の取組への反映等	
⑨ 今後の住宅施策の取組への反映	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公営住宅ストック総合改善事業においては、安心して快適な住まいと地域づくりの実現のため、ストック計画の再見直しも視野に入れ、次期地域住宅計画で定める目標の達成に向けて事業の推進を図っていくものとする。</li> <li>・ 木造住宅の耐震化においては、町内会・地域自主防災会等との連携を図り啓発・普及活動の向上に努めるとともに、ダイレクトメール・戸別訪問等の対策で従来を上回るペースで住宅の耐震化の推進を強力に進めていくものとする。</li> </ul>
⑩ その他	

※この事後評価は別添の社会資本総合整備計画（地域住宅計画）について行ったものである。